

令和4年度

教育委員会事務の点検及び評価報告書
(令和3年度実績)

令和4年11月

千 曲 市 教 育 委 員 会

目 次

1	はじめに	1
2	実施の方法	2
3	評価シート(主要な施策の評価に関する説明書)	4
4	成果指標	19
5	外部評価での意見・提言とそれに対する考え	21
6	点検及び評価を受けて	25
7	資 料	
	教育長・教育委員	26
	教育委員会基本方針	26
	令和3年度教育委員会議及び議決案件一覧	29
	教育委員会事務分掌	33

1 はじめに

平成 20 年 4 月から、教育委員会は地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなりました。

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、千曲市では千曲市教育振興審議会による外部評価を加え、点検及び評価を行うこととしています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律【抜粋】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

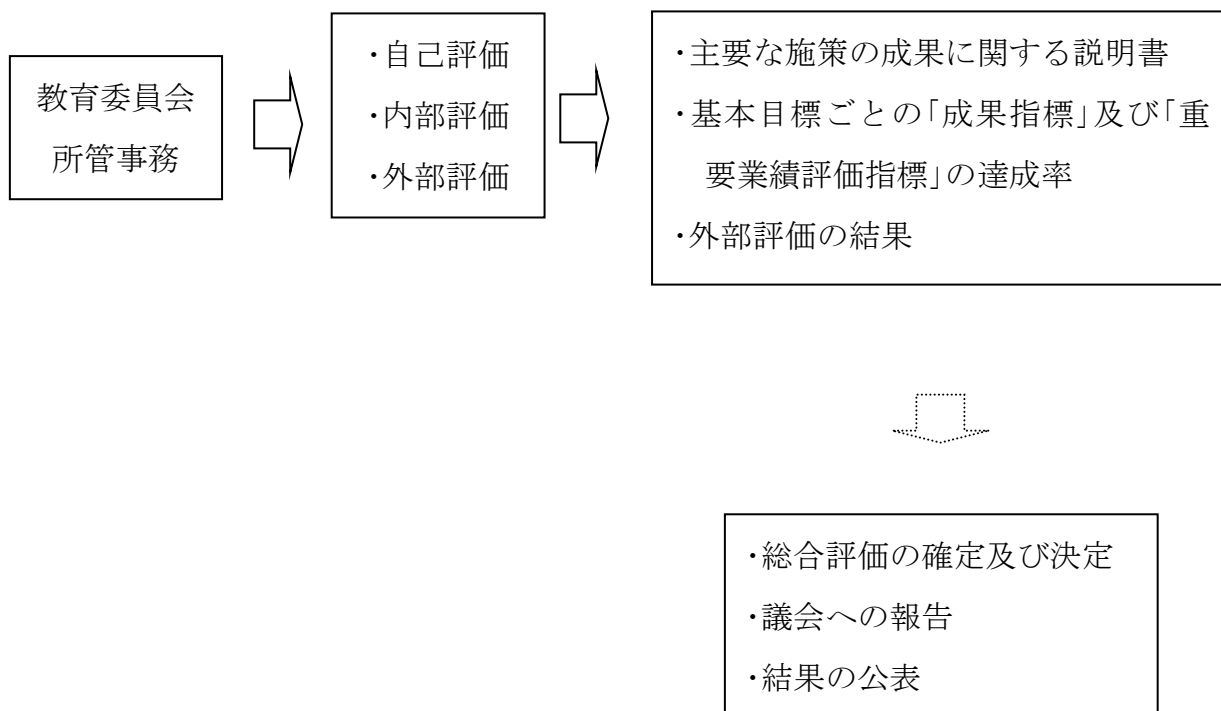
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施の方法

(1) 点検及び評価の方法と手順

点検及び評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務のうち、前年度に実施した主要施策並びに第二次千曲市総合計画「成果指標」及び千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」の対象事業とします。

- ① 担当課長は、「主要な施策の成果に関する説明書」及び「成果指標」等の内容を踏まえて、**自己評価**をします。
- ② 教育部で自己評価を検証し、主要な施策の成果について**内部評価**をします。
- ③ 千曲市教育振興審議会が、「主要な施策の成果に関する説明書」により、**外部評価**をします。
- ④ 教育委員会において「担当課の評価」及び「外部評価委員会の評価」を踏まえて**総合評価**の確定及び決定をします。



(2) 千曲市教育振興審議会委員

氏 名	役職等	備考
宮崎 樹夫	【会長】 信州大学副学長	学識経験者
飯島 稔	千曲市校長会 会長	上山田小学校長
小林 克浩	中学校長 代表	更埴西中学校長
唐木 文子	【幹事】 更埴PTA連合会 副会長	PTA代表
瀧澤 健太	更埴PTA連合会 副会長	PTA代表
坂田 博	千曲市公民館運営協議会 会長	生涯学習推進団体
塚田 訓好	特定非営利活動法人 千曲市スポーツ協会 会長	スポーツ振興団体
亀山 正明	千曲市文化芸術協会 会長	文化振興団体
久保田 英雄	元県生涯学習文化財課指導主事	歴史文化学識経験者
君島 一字	【副会長】 一般公募	公募
滝沢 祐子	一般公募	公募
田島 仁	【幹事】 一般公募	公募

3 評価シート（主要な施策の評価に関する説明書）

事業名	情報教育センター事業 (GIGA スクール構想)	担当課名	教育総務課
-----	-----------------------------	------	-------

教育振興基本計画 基本目標Ⅰ 施策1-1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">15,877,510</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、 職員手当等</td><td>5,952,100</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>1,826,000</td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td>8,099,410</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産 購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助 及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		15,877,510		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、 職員手当等	5,952,100	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	1,826,000	使用料及び 賃借料	8,099,410	工事請負費		原材料費		公有財産 購入費		備品購入費		負担金、補助 及び交付金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 ソサエティ5.0の未来社会に向けて、子どもたちが情報やICT機器を有効に、安全に活用する「情報活用能力」を育むため、GIGAスクール構想において整備された一人一台端末を活用し協働的な学びを推進するとともに、個別最適な学習環境を整備する。 【実績】 市内全小中学校に無線ネットワーク環境を整備し、一人一台端末の活用を年度当初から開始した。 【成果等】 市内全13校にて、授業中の端末活用はもとより、自宅に（端末を）持ち帰り、家庭学習で活用する事例も増えてきている。 また、オンライン授業ができる環境が整備されたことにより、コロナ禍で学校休業や学級閉鎖となっても、授業を止めることなく、学びを進めることができた。 【今後の方向性】 一人一台端末の活用機会拡大に伴い、児童生徒への情報モラル教育を推進していく。 また、課題である端末の修繕に係る費用の確保及び、機器更新に係る財源の確保について研究に努める。
決 算 額 (円)																																							
15,877,510																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、 職員手当等	5,952,100																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費																																							
委託料	1,826,000																																						
使用料及び 賃借料	8,099,410																																						
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産 購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助 及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>2,444,383</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>13,433,127</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	2,444,383	県支出金		地方債		その他		一般財源	13,433,127																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金	2,444,383																																						
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	13,433,127																																						

事業名	高校再編	担当課名	教育総務課
-----	------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策1-1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">373,462</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>292,598</td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>59,564</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>21,300</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		373,462		節 別 内 訳 (円)		報酬	292,598	給料、職員手当等	59,564	報償費		旅費	21,300	需用費		役務費		委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 長野県による高等学校再編成の対象となる「屋代南高校」について、県に働きかけを行い、「多部制・単位制高校」に転換し、多様な学びを提供できる高校として、引き続き存続・発展させる。 【実績】 ●第2期高校再編に係る屋代南高校の存続・発展に係る取組 ■旧第4通学区(長野市南部・千曲市・坂城町)高校の将来像を考える地域の協議会への参画 *千曲市関係委員 市長、教育長、商工団体、JA、校長会、PTA ○意見提案書(素案)の審議 ⑥5/11(火) ⑦5/31(月) ○住民意見募集 6/21(月)～7/20(火) ○意見提案書の確定 ⑧7/29(木) ○県教委へ意見提案書の提出 8/24(火) ■屋代南高校を発展させる会の開催 ○県教委に対し「地域協議会」での議論を踏まえた「屋代南高校の学校転換について」の提案要望書の提出 ○提案要望書の素案審議、確定 ・総会 5/7(金) ・臨時総会 7/28(水) ○県教委へ提案要望書の提出 9/15(水) ○今後の活動方針の確認等 ・報告会 11/22(月) ・臨時総会 2/25(金) 【成果等】 2/25の臨時総会において「たとえ学校名が変わったとしても、何らかの形で、今ある場所に学校を残すための活動を続ける」という決議に至った。 【今後の方向性】 ○県教委が公表する「第三次高校再編・整備計画(案)」の内容を検証。 ○県教委が開催する住民説明会等の市民への周知。 ○屋代南高校を発展させる会を中心とした継続的な県教委への高校存続の働きかけ。
決 算 額 (円)																																							
373,462																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬	292,598																																						
給料、職員手当等	59,564																																						
報償費																																							
旅費	21,300																																						
需用費																																							
役務費																																							
委託料																																							
使用料及び賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>373,462</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	373,462																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	373,462																																						

事業名	生涯学習推進事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策2-1

事業費		主要な施策の成果等																																							
<table><tr><th colspan="2">決算額(円)</th></tr><tr><td colspan="2">41,965,033</td></tr><tr><th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr><tr><td>報酬</td><td>1,007,640</td></tr><tr><td>給料、職員手当等</td><td>21,212,061</td></tr><tr><td>報償費</td><td>4,091,777</td></tr><tr><td>旅費</td><td>24,000</td></tr><tr><td>需用費</td><td>3,561,865</td></tr><tr><td>役務費</td><td>487,373</td></tr><tr><td>委託料</td><td></td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>13,200</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td></td></tr><tr><td>原材料費</td><td></td></tr><tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>11,567,117</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr><tr><td>扶助費</td><td></td></tr><tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr><tr><td>公課費</td><td></td></tr></table>		決算額(円)		41,965,033		節別内訳(円)		報酬	1,007,640	給料、職員手当等	21,212,061	報償費	4,091,777	旅費	24,000	需用費	3,561,865	役務費	487,373	委託料		使用料及び賃借料	13,200	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費	11,567,117	負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 すべての市民が生涯にわたる学びをとおして地域を考え、千曲市に対する深い理解を基本に、よりよいまちを創るための行動につなげていく。 【実績】 青少年を対象とした体験や知識習得の場の提供を20回実施し、延830人が参加した。 主として成人を対象とした知識習得と人との交流の場の提供として567回の講座を実施し、延8,042人が参加した。公民館、大池自然の家にWi-Fiを設置し、学習環境の整備を行った。 【成果等】 新型コロナウイルスの影響により、参加者が多い運動系の講座は中止した。 各種教室・講座においては参加者の人数を制限し、安全に実施できる体制をとり、開催回数を極力変えずに実施した。 コロナ禍ではあるものの、学びの場を閉ざすことなく生涯学習の場を提供し、市民の学習意欲の向上が図られた。 【今後の方向性】 新しい生活様式により、学びの場のスタイルを変えることが必要であり、第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画において目標としている各項目の実践形式を確立し、引き続き市民の「学ぶ力」を引き出していく。	
決算額(円)																																									
41,965,033																																									
節別内訳(円)																																									
報酬	1,007,640																																								
給料、職員手当等	21,212,061																																								
報償費	4,091,777																																								
旅費	24,000																																								
需用費	3,561,865																																								
役務費	487,373																																								
委託料																																									
使用料及び賃借料	13,200																																								
工事請負費																																									
原材料費																																									
公有財産購入費																																									
備品購入費	11,567,117																																								
負担金、補助及び交付金																																									
扶助費																																									
補償、補填及び賠償金																																									
公課費																																									
<table><tr><th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr><tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr><tr><td>県支出金</td><td>274,000</td></tr><tr><td>地方債</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>1,747,100</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>39,943,933</td></tr></table>		財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金	274,000	地方債		その他	1,747,100	一般財源	39,943,933																												
財源内訳(円)																																									
国庫支出金																																									
県支出金	274,000																																								
地方債																																									
その他	1,747,100																																								
一般財源	39,943,933																																								

事業名	更埴図書館災害復旧事業	担当課名	生涯学習課
-----	-------------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策2-1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">3,152,800</td></tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>1,623,300</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>576,400</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>224,400</td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td>2,352,000</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決算額(円)		3,152,800		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	1,623,300	報償費		旅費		需用費		役務費	576,400	委託料	224,400	使用料及び賃借料	2,352,000	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 元の図書館の災害復旧工事を実施する間、隣地の旧ちくま農協杭瀬下支所を賃借して仮設図書館を設置し、図書館サービスの継続に努めた。 【実績】 ○仮設図書館の敷地・建物の賃借【賃借料】 ○図書館システム、複合機、電気温水器の移転【役務費】 ○仮設図書館の警備委託【委託料】 【成果等】 令和3年度も図書館サービスを継続し、年度末の再移転作業もスムーズに実施でき、開館予定の令和4年4月3日に元の図書館を無事再開館できた。 【今後の方向性】 今後の災害発生を未然に防ぐため、止水板設置の訓練が必要。
決算額(円)																																							
3,152,800																																							
節別内訳(円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	1,623,300																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費	576,400																																						
委託料	224,400																																						
使用料及び賃借料	2,352,000																																						
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>3,152,800</td></tr> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,152,800																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	3,152,800																																						

事業名	多文化共生・東京オリンピックホストタウン事業	担当課名	生涯学習課
-----	------------------------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策3-1

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr><td colspan="2">決 算 額 (円)</td></tr> <tr><td colspan="2">3, 141, 785</td></tr> <tr><td colspan="2">節 別 内 訳 (円)</td></tr> <tr><td>報酬</td><td>339, 650</td></tr> <tr><td>給料、職員手当等</td><td>2, 164, 400</td></tr> <tr><td>報償費</td><td></td></tr> <tr><td>旅費</td><td></td></tr> <tr><td>需用費</td><td>216, 043</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>10, 890</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>375, 502</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>35, 300</td></tr> <tr><td>扶助費</td><td></td></tr> <tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr><td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td colspan="2">財 源 内 訳 (円)</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3, 141, 785</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		3, 141, 785		節 別 内 訳 (円)		報酬	339, 650	給料、職員手当等	2, 164, 400	報償費		旅費		需用費	216, 043	役務費	10, 890	委託料	375, 502	使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	35, 300	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3, 141, 785	【事業目的】 外国籍市民を特別視せず、日本人との相互理解を深め、すべての国籍の市民が地域の一員として生活できる多文化共生の街を造る。 ホストタウンとしての国際交流を推進し、市民の国際意識を高める。 【実績】 多文化共生として、外国人を対象とした言葉の学習と日本の習慣の知識習得の日本語教室を34回実施し、延41人が参加した。 また、外国人のためのネットワークづくり、人づくりのための事業をNP0法人千曲国際交流協会と協働により行った。 東京オリンピックホストタウン事業は、相手国であるハンガリー卓球連盟から事前合宿中止の申し入れがあり、交流事業の実施にはいたらなかった。 選手を応援するため、4年生以上の児童生徒が作成した応援メッセージ付千羽鶴7,200羽を市内就労支援施設が、千羽に束ね贈呈した。 また、ハンガリーの食文化を知るための機会として学校給食にてスープ等を提供した。 その他、屋代南高校ライフデザイン科と富士見高校園芸部とのコラボにより、選手のための食メニューを考案するプロジェクトへ参加した。 【成果等】 協働により外国籍市民のネットワークづくりの、足がかりができた オリパラについては、新型コロナウイルスの影響により、交流イベント等は中止となったが、児童生徒を通じホストタウンであることをアピールできた。 【今後の方向性】 外国人が抱えている悩みや、相談を把握することの課題がある、協働事業2年目となることから、さらに研究を行う。 ホストタウン事業については、今後も音楽や文化を紹介するイベント等を実施していく。
決 算 額 (円)																																																			
3, 141, 785																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬	339, 650																																																		
給料、職員手当等	2, 164, 400																																																		
報償費																																																			
旅費																																																			
需用費	216, 043																																																		
役務費	10, 890																																																		
委託料	375, 502																																																		
使用料及び賃借料																																																			
工事請負費																																																			
原材料費																																																			
公有財産購入費																																																			
備品購入費																																																			
負担金、補助及び交付金	35, 300																																																		
扶助費																																																			
補償、補填及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金																																																			
県支出金																																																			
地方債																																																			
その他																																																			
一般財源	3, 141, 785																																																		

事業名	更埴文化会館施設災害復旧事業	担当課名	文化課
-----	----------------	------	-----

基本目標Ⅰ 施策2-3

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">766,591,324</td></tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>2,705,500</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>15,510,000</td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td>747,276,000</td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td>406,824</td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>693,000</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決算額(円)		766,591,324		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	2,705,500	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	15,510,000	使用料及び賃借料		工事請負費	747,276,000	原材料費		公有財産購入費		備品購入費	406,824	負担金、補助及び交付金	693,000	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 令和元年東日本台風により被災した更埴文化会館の施設機能復旧。 【実績】 ① 更埴文化会館施設災害復旧工事監理業務委託 契約：令和3年2月4日 契約額：15,510,000円 受注者：株式会社アーキプラン 工期：令和3年2月4日～令和4年1月31日 ② 更埴文化会館施設災害復旧 建築主体工事 契約：令和3年2月3日（変更：R3.11.29） 契約額：299,057,000円（当初：294,800,000円） 受注者：中信建設株式会社 工期：令和3年2月3日～令和4年1月28日 ③ 更埴文化会館施設災害復旧 機械設備工事 契約：令和3年2月3日（変更：R3.11.29） 契約額：474,199,000円（当初：472,780,000円） （中間前払：94,500,000円、精算払：190,699,000円） 受注者：株式会社石井工務所 工期：令和3年2月3日～令和4年1月28日 ④ 更埴文化会館施設災害復旧 電気設備工事 契約：令和3年2月3日（変更：R3.11.25） 契約額：271,700,000円 （中間前払：54,340,000円、精算払：108,680,000円） 受注者：株式会社峰村電気商会 工期：令和3年2月3日～令和4年1月28日 ⑤ 更埴文化会館 ジェットヒーター購入 契約：令和4年3月10日 契約額：406,824円 受注者：リオン熱学株式会社 長野支店 納入期限：令和4年3月29日 ⑥ 県営水道加入金：693,000円 ・長野県企業局 川中島水道管理事務所 【成果等】 工事は予定通りに完了。災害復旧に加えて、一部設備の改修を行った。 【今後の方向性】 建築から30年以上経過しており、今後も計画的に修繕や改修を進める。
決算額(円)																																							
766,591,324																																							
節別内訳(円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	2,705,500																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費																																							
委託料	15,510,000																																						
使用料及び賃借料																																							
工事請負費	747,276,000																																						
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費	406,824																																						
負担金、補助及び交付金	693,000																																						
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td>732,305,000</td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>34,286,324</td></tr> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債	732,305,000	その他		一般財源	34,286,324																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債	732,305,000																																						
その他																																							
一般財源	34,286,324																																						

事業名	名勝姨捨整備事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	----------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策1-1

事業費		主要な施策の成果等	
決算額(円)		【事業目的】 - 日本遺産の主要な構成文化財であり、名勝並びに重要文化的景観に指定されている「姨捨の棚田」での耕作を維持、保存するための整備を行う。 【実績】 - 整備の基本構想である「姨捨の棚田」整備計画を策定するため、有識者・地元関係者で組織した整備委員会を2回開催した。 - 日本遺産説明会に併せ、整備計画策定について地区住民や耕作者に説明を行った。 - 文化庁との協議を5回行い、計画案の内容、体裁について指導を受けた。 - 関係各課と随時調整を行い、計画案の作成を行った。 【成果等】 - 令和4年3月22日開催の第2回姨捨の棚田整備委員会において、整備計画案について承認をいただいた。 - 令和4年3月30日に文化庁との協議を終え、「姨捨の棚田」整備計画を策定した。 【今後の方向性】 - 姨捨の棚田での耕作を維持し、日本遺産の構成文化財として保存・活用を図るため、関係各課と連携し、整備計画に基づいた事業を実施していく。	
3,469,050			
節別内訳(円)			
報酬			
給料、職員手当等	3,246,600		
報償費	122,050		
旅費	100,400		
需用費			
役務費			
委託料			
使用料及び賃借料			
工事請負費			
原材料費			
公有財産購入費			
備品購入費			
負担金、補助及び交付金			
扶助費			
補償、補填及び賠償金			
公課費			
財源内訳(円)			
国庫支出金			
県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	3,469,050		

事業名	松田家資料整備事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	-----------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策1-1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr><th colspan="2">決算額(円)</th></tr> <tr><td colspan="2">159,119,778</td></tr> <tr><th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr> <tr><td>報酬</td><td></td></tr> <tr><td>給料、職員手当等</td><td>3,787,700</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>46,300</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>16,920</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>593,420</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>139,363</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>8,129,595</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>18,480</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>146,388,000</td></tr> <tr><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr><td>扶助費</td><td></td></tr> <tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr><td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決算額(円)		159,119,778		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	3,787,700	報償費	46,300	旅費	16,920	需用費	593,420	役務費	139,363	委託料	8,129,595	使用料及び賃借料	18,480	工事請負費	146,388,000	原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 ・日本遺産の構成文化財の一つでもある松田家の建物等を整備し、松田家に伝わる史料を広く公開し活用を図る。 ・長野県史跡等に指定されている松田家を博物館施設として整備することにより、八幡地区活性化並びに市民の文化財保護意識の啓発を図る。 ・千曲市歴史的風致維持向上計画の重点地区として、歴史的環境の整備を行う。 【実績】 ・平成29年9月の火災により焼損した松田家主屋等の修理工事を令和2～3年度債務負担事業として実施し、令和3年12月にしゅん工した。 ・松田家整備委員会を開催し、令和4年度中の博物館施設として開館に向け、展示方針・管理運営方針について検討を行った。 【成果等】 ・松田家主屋等修理工事のしゅん工により、博物館施設として令和4年度中に開館できる見込みとなった。 【今後の方向性】 ・令和4年度中の一般公開に向け、施設名称、管理体制の検討を行う。また、防災設備や展示・外構工事を行い、開館準備を加速する。 ・千曲市歴史的風致維持向上計画に基づき、重点地区である松田家周辺の環境整備を進める。
決算額(円)																																							
159,119,778																																							
節別内訳(円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	3,787,700																																						
報償費	46,300																																						
旅費	16,920																																						
需用費	593,420																																						
役務費	139,363																																						
委託料	8,129,595																																						
使用料及び賃借料	18,480																																						
工事請負費	146,388,000																																						
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr><th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>2,000,000</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>157,119,778</td></tr> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	2,000,000	一般財源	157,119,778																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他	2,000,000																																						
一般財源	157,119,778																																						

事業名	重要伝統的建造物群保存推進事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	-----------------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策 1-1

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">13,892,237</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>50,400</td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>2,164,400</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>24,437</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td>306,000</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>11,347,000</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>4,098,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td>245,000</td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>9,549,237</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		13,892,237		節 別 内 訳 (円)		報酬	50,400	給料、職員手当等	2,164,400	報償費		旅費	24,437	需用費		役務費		委託料		使用料及び賃借料	306,000	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	11,347,000	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	4,098,000	県支出金	245,000	地方債		その他		一般財源	9,549,237	【事業目的】 - 重要伝統的建造物群保存地区に選定された、稲荷山地区の伝統的な建造物等の修理、修景事業に補助を行い、環境整備を図る。 - 稲荷山地区活性化の拠点となる施設の整備に向け、稲荷山伝統的建造物群保存地区全体の整備計画を策定する。 【実績】 - 伝統的建造物等の修理事業として、大内家主屋等、3件の事業に補助を行った。 - 環境整備のため、非伝統的建造物1件の新築修景事業に補助を行った。 - 全体計画の策定事業は、コロナ禍や上位の法定計画である千曲市文化財保存活用地域計画の策定を優先したため、策定に至らず、令和4年度に策定することとした。 【成果等】 - 修理修景事業の実施により、伝統的な建造物が本来の姿を取り戻し、地区の環境整備に寄与した。 - 平成27年度から実施してきた本事業による修理修景物件は延べ17件（21事業）となった。 【今後の方向性】 - 重伝建地区の環境整備を図るため、引き続き伝統的建造物等の修理修景事業を進める。 - 稲荷山地区の活性化を図るため、地区住民の意見を反映した全体整備計画を策定し、この整備計画に基づく事業の展開を行う。
決 算 額 (円)																																																			
13,892,237																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬	50,400																																																		
給料、職員手当等	2,164,400																																																		
報償費																																																			
旅費	24,437																																																		
需用費																																																			
役務費																																																			
委託料																																																			
使用料及び賃借料	306,000																																																		
工事請負費																																																			
原材料費																																																			
公有財産購入費																																																			
備品購入費																																																			
負担金、補助及び交付金	11,347,000																																																		
扶助費																																																			
補償、補填及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金	4,098,000																																																		
県支出金	245,000																																																		
地方債																																																			
その他																																																			
一般財源	9,549,237																																																		

事業名	第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会	担当課名	スポーツ振興課
-----	------------------------------	------	---------

基本目標Ⅰ 施策2-2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">1,310,360</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>1,082,200</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>228,160</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		1,310,360		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	1,082,200	報償費		旅費		需用費	228,160	役務費		委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会において、ハンドボール、新体操、ボッチャ競技が千曲市で行われることから、大会開催に向け各競技団体、スポーツ関係団体と連携し、体験会等を通じ大会への関心と周知を図る。 【実績】 北信越国体ハンドボール競技大会が千曲市で開催されたことから、県ハンドボール協会と連携しことぶきアリーナ千曲において開催した。 ボッチャ競技の審判員講習を県ボッチャ協会と連携し、6月、7月、11月の3回開催し、県内から延べ103名が参加し競技の啓発を図った。 新体操の発表会を2月に県体操協会と計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。 【成果等】 北信越ハンドボール競技大会が開催されたことにより、市民への周知、気運醸成及び各競技団体との連携強化が図られた。 ボッチャ競技においては、大会に向けた機運醸成及び各競技団体との連携強化が図られた。 令和3年の各種競技の実施により、国体等における競技実施における課題等が把握された。 【今後の方向性】 国民スポーツ大会開催に向け、競技施設の施設整備、準備委員会・実行委員会の設置、競技役員・ボランティアの養成、リハーサル大会の開催・運営等、準備業務が多岐にわたることから、業務量の増加が予想される。 大会準備室の設置など運営体制の強化を図る必要がある。
決 算 額 (円)																																							
1,310,360																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	1,082,200																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費	228,160																																						
役務費																																							
委託料																																							
使用料及び賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>1,310,360</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,310,360																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	1,310,360																																						

事業名	長野地域連携中枢都市圏スポーツ分野 連携事業	担当課名	スポーツ振興課
-----	---------------------------	------	---------

基本目標Ⅰ 施策2-2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">1,393,300</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、 職員手当等</td><td>1,082,200</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>55,000</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産 購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助 及び交付金</td><td>256,100</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		1,393,300		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、 職員手当等	1,082,200	報償費		旅費		需用費		役務費	55,000	委託料		使用料及び 賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産 購入費		備品購入費		負担金、補助 及び交付金	256,100	扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業の取り組みとして、地域密着型プロスポーツチームを支援し、長野市と連携しながら、スポーツを通じた地域活性化を進める。 【実績】 ○千曲市地域密着型プロスポーツチーム応援バス事業 (AC長野パルセイロ) 実施日：令和3年12月5日(日) 実施回数：1回 参加者：59名 ○信州ブレイブウォリアーズ シーズンの千曲市初戦(令和3年10月27日)において応援広告を掲出 ○「全国中学生スケート大会」(1/29～2/1)の学校観戦 →新型コロナウイルス感染拡大のため中止 【成果等】 地域のプロスポーツチームとの交流を深めるとともに、スポーツを通して地域活性化を図った。 【今後の方向性】 新型コロナウイルス感染拡大により、会場に足を運び、応援する機会が減り、今年度は実績が少なかったが、引き続き、長野市やプロスポーツチーム等関係機関と連携を密にしながら支援を行い地域活性化に努める。
決 算 額 (円)																																							
1,393,300																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、 職員手当等	1,082,200																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費	55,000																																						
委託料																																							
使用料及び 賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産 購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助 及び交付金	256,100																																						
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>1,338,300</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,338,300																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	1,338,300																																						

事業名	社会体育施設耐震化事業	担当課名	スポーツ振興課
-----	-------------	------	---------

基本目標Ⅰ 施策2-2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr><th colspan="2">決算額(円)</th></tr> <tr><td colspan="2">6,621,500</td></tr> <tr><th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr> <tr><td>報酬</td><td></td></tr> <tr><td>給料、職員手当等</td><td>2,705,500</td></tr> <tr><td>報償費</td><td></td></tr> <tr><td>旅費</td><td></td></tr> <tr><td>需用費</td><td></td></tr> <tr><td>役務費</td><td></td></tr> <tr><td>委託料</td><td>3,916,000</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr><td>扶助費</td><td></td></tr> <tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr><td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決算額(円)		6,621,500		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	2,705,500	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	3,916,000	使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 社会体育施設は、地域住民のスポーツに親しむ場として、災害時には避難所として利用される場であることから、非構造部材を主とした耐震化を進め、利用者の安全を図る。 【実績】 耐震化工事に向けた耐震診断業務、実施設計業務、アスベスト調査業務。 ○勤労者体育センター非構造部材耐震診断業務 契約日 令和3年9月15日 契約額 2,178,000円 受託者 ㈱竹村建設設計事務所 履行期間 令和3年9月15日～12月23日 ○勤労者体育センター非構造部材耐震化事業実施設計業務 契約日 令和3年12月17日 契約額 1,320,000円 受託者 宮下一級建築設計事務所 履行期間 令和3年12月17日～令和4年3月25日 ○勤労者体育センターアスベスト調査業務 契約日 令和4年1月18日 契約額 418,000円 受託者 (一社)長野県労働基準協会連合会 履行期間 令和4年1月18日～2月9日 【成果等】 上記により耐震工事費の概算、補強・補修方法の提案を受けたことから、令和4年度から耐震工事を実施する。 【今後の方向性】 令和4年9月から令和5年2月まで耐震工事を施工する。工事期間中は使用が禁止されるため、事前に周知し、利用者への対応を図る。 なお、その他社会体育施設の耐震化については千曲市耐震改修促進計画に則り、次年度以降も順次進めていく。
決算額(円)																																							
6,621,500																																							
節別内訳(円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	2,705,500																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費																																							
委託料	3,916,000																																						
使用料及び賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr><th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td>3,400,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,221,500</td></tr> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債	3,400,000	その他		一般財源	3,221,500																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債	3,400,000																																						
その他																																							
一般財源	3,221,500																																						

事業名	給食センター管理運営事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	--------------	------	------------

基本目標Ⅰ 施策1-2

事業費		主要な施策の成果等																																			
決算額(円) 272, 557, 615		【事業目的】 管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。																																			
節別内訳(円) <table><tr><td>報酬</td><td>29, 440, 437</td></tr><tr><td>給料、職員手当等</td><td>4, 466, 262</td></tr><tr><td>賃金</td><td></td></tr><tr><td>報償費</td><td></td></tr><tr><td>旅費</td><td>737, 000</td></tr><tr><td>需用費</td><td>219, 072, 789</td></tr><tr><td>役務費</td><td>1, 403, 583</td></tr><tr><td>委託料</td><td>15, 208, 424</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>2, 096, 570</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td></td></tr><tr><td>原材料費</td><td></td></tr><tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr><tr><td>備品購入費</td><td></td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>39, 850</td></tr><tr><td>扶助費</td><td></td></tr><tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr><tr><td>公課費</td><td>92, 700</td></tr></table>		報酬	29, 440, 437	給料、職員手当等	4, 466, 262	賃金		報償費		旅費	737, 000	需用費	219, 072, 789	役務費	1, 403, 583	委託料	15, 208, 424	使用料及び賃借料	2, 096, 570	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	39, 850	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	92, 700	【実績】 総給食数 3, 085 食 年間給食数 8 校 給食日数 206 日(センター稼働日) アレルギー対応給食該当者 72 名 栄養士による食教育実施 年間実施回数 24 回 学校給食訪問 年間実施回数 8 回 全校集会講話 年間実施回数 4 回 千曲市学校給食センター運営委員会 1 回 千曲市食物アレルギー対応専門部会 1 回 学校給食担当者会 4 回 児童のセンター見学 (中止) PTA等による施設見学・試食 (中止) 親子試食会 (中止) 職場体験学習 (中止) 一般見学試食会 (中止) ・児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行った。 ・新型コロナウイルス感染防止措置による学校・学年閉鎖、各行事の見直しに伴う各校の給食日数の変更に対応してきた。	
報酬	29, 440, 437																																				
給料、職員手当等	4, 466, 262																																				
賃金																																					
報償費																																					
旅費	737, 000																																				
需用費	219, 072, 789																																				
役務費	1, 403, 583																																				
委託料	15, 208, 424																																				
使用料及び賃借料	2, 096, 570																																				
工事請負費																																					
原材料費																																					
公有財産購入費																																					
備品購入費																																					
負担金、補助及び交付金	39, 850																																				
扶助費																																					
補償、補填及び賠償金																																					
公課費	92, 700																																				
財源内訳(円) <table><tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr><tr><td>県支出金</td><td></td></tr><tr><td>地方債</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>185, 793, 714</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>8, 676, 390</td></tr></table>		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	185, 793, 714	一般財源	8, 676, 390	【成果等】 ・調理従事者の衛生管理、施設・設備の維持管理を徹底し食中毒の防止に努めることができた。 ・新型コロナの影響下で相当の制約はあったが、できる範囲の中で栄養教諭が食教育に取り組み、児童生徒の食への正しい理解の醸成に資することができた。 ・アレルギー対応栄養士によりアレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。 ・R3 地域食材使用率 千曲市産 35. 71%、県内産 12. 56% ・残菜量 19. 13 kg/日 (前年度 16. 45 kg/日) 【今後の方向性】 安全・安心な学校給食を安定して提供するため、以下の項目について努めていくことが求められる。 ・衛生管理の徹底及びレベルの向上 ・異物混入などの給食事故防止への取り組み ・施設・機械設備・器具類の適切な維持管理と改善 ・調理作業等における事故防止の推進 ・地域食材の活用と利用率の向上 ・増加するアレルギー対応について、安全確保のために取扱指針の見直し																									
国庫支出金																																					
県支出金																																					
地方債																																					
その他	185, 793, 714																																				
一般財源	8, 676, 390																																				

事業名	学校給食費徴収事務事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	-------------	------	------------

基本目標Ⅰ 施策1-2

事業費		主要な施策の成果等	
決算額(円)		【事業目的】	
3,703,928		学校教職員の働き方改革の一環として、これまで学校で行っていた給食費の徴収事務を第1学校給食センターに移行する。	
節別内訳(円)		【実績】	
報酬	1,427,484	新たに徴収管理システムを導入し、市が直接給食費の徴収を行う。令和3年度より運用を開始。	
給料、職員手当等	154,644	口座振替による納入 約3,400件/月 納付書による納入 約30件/月	
賃金		現年分(令和3年度)	
報償費		調定金額	
旅費	24,000	第1学校給食センター 186,069,193円	
需用費	115,500	第2学校給食センター 98,453,410円	
役務費	281,600	収入済額	
委託料	412,500	第1学校給食センター 185,754,719円	
使用料及び賃借料		第2学校給食センター 98,235,581円	
工事請負費		収入未済額	
原材料費		第1学校給食センター 314,474円	
公有財産購入費		第2学校給食センター 217,829円	
備品購入費		【成果等】	
負担金、補助及び交付金	1,288,200	・市が一括して給食費の徴収を行ったことにより学校の事務負担が大幅に軽減された。	
扶助費		・口座振替者に対しては、納期限の他、翌月中旬に再振替を行い納入促進に努めた。	
補償、補填及び賠償金		・振替不能者(未納者)には、毎月督促状を送付(約90件/月)	
公課費		・未納者に対しては、数カ月一度文書で納入依頼して未納解消に努めた。長期未納者に対しては、2月に催告書を発送した。	
財源内訳(円)		【今後の方向性】	
国庫支出金		・長期滞納者の中には、市で何度通知や電話等をしていても直接連絡が取れない者もいる。学校と未納者の情報を共有しているが、未納解消に向けどう連携していくかが課題である。	
県支出金		・操作マニュアル、未納対応マニュアルの作成が必要と考えているが現状は未作成である。	
地方債		・令和4年度からは、就学支援費(給食費相当分)により保護者負担分の全額を支給する。対象でない者、過年度に未納がある者は児童手当を活用しての納入を促す。引き続き給食費の無償化について検討する。	
その他	185,793,714		
一般財源	86,763,901		

事業名	給食センター管理運営事業	担当課名	第2学校給食センター
-----	--------------	------	------------

基本目標Ⅰ 施策1-2

事業費	主要な施策の成果等																																																								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr><td colspan="2">163,033,272</td></tr> <tr><th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr><td>報酬</td><td>14,917,082</td></tr> <tr><td>給料、職員手当等</td><td>2,234,669</td></tr> <tr><td>賃金</td><td></td></tr> <tr><td>報償費</td><td></td></tr> <tr><td>旅費</td><td>334,500</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>116,082,665</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>985,036</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>7,159,010</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>3,141,625</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>17,811,585</td></tr> <tr><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>288,200</td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>23,600</td></tr> <tr><td>扶助費</td><td></td></tr> <tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr><td>公課費</td><td>55,300</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		163,033,272		節 別 内 訳 (円)		報酬	14,917,082	給料、職員手当等	2,234,669	賃金		報償費		旅費	334,500	需用費	116,082,665	役務費	985,036	委託料	7,159,010	使用料及び賃借料	3,141,625	工事請負費	17,811,585	原材料費		公有財産購入費		備品購入費	288,200	負担金、補助及び交付金	23,600	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	55,300	【事業目的】 管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。 【実績】 1. 給食提供 5校（小学校4校、中学校1校） 給食数1,657食 給食日数202日 （アレルギー対応給食該当者43名） 2. 主な経過 <table border="1"> <tr><td>施設見学・試食（保護者・一般）</td><td>中止</td></tr> <tr><td>児童の施設見学</td><td>中止</td></tr> <tr><td>親子給食会</td><td>中止</td></tr> <tr><td>職場体験学習</td><td>中止</td></tr> <tr><td>栄養教諭による食教育</td><td>6回</td></tr> <tr><td>学校給食訪問</td><td>13回</td></tr> <tr><td>全校集会講話</td><td>2回</td></tr> <tr><td>会議 学校給食担当者会</td><td>6回</td></tr> </table> - 児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行った。 - 新型コロナウイルス感染防止措置による学校・学年閉鎖、各行事の見直しに伴う各校の給食日数の変更に対応してきた。 【成果等】 - 栄養士、調理従事者の努力により、安全な給食を提供することができた。 - コロナ禍のため、施設見学・親子給食会等が実施できなかったが、可能な範囲で学校給食訪問・食教育等を実施し、児童・生徒に対して食への関心・理解を深めることができた。 - アレルギー対応栄養士によりアレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。 - R3 地域食材使用率 千曲市産 35.49%、県内産 16.82% - 残菜量 17.2 kg/日（前年度 13.8 kg/日） 【今後の方向性】 - 衛生管理の徹底と工夫、設備・機械器具類の適切な維持管理等により安全な給食の提供に努める。 - アレルギー対応給食について、安全確保のために取扱指針の見直しを行う。 - 地域食材の活用と利用率の向上を図る。	施設見学・試食（保護者・一般）	中止	児童の施設見学	中止	親子給食会	中止	職場体験学習	中止	栄養教諭による食教育	6回	学校給食訪問	13回	全校集会講話	2回	会議 学校給食担当者会	6回
決 算 額 (円)																																																									
163,033,272																																																									
節 別 内 訳 (円)																																																									
報酬	14,917,082																																																								
給料、職員手当等	2,234,669																																																								
賃金																																																									
報償費																																																									
旅費	334,500																																																								
需用費	116,082,665																																																								
役務費	985,036																																																								
委託料	7,159,010																																																								
使用料及び賃借料	3,141,625																																																								
工事請負費	17,811,585																																																								
原材料費																																																									
公有財産購入費																																																									
備品購入費	288,200																																																								
負担金、補助及び交付金	23,600																																																								
扶助費																																																									
補償、補填及び賠償金																																																									
公課費	55,300																																																								
施設見学・試食（保護者・一般）	中止																																																								
児童の施設見学	中止																																																								
親子給食会	中止																																																								
職場体験学習	中止																																																								
栄養教諭による食教育	6回																																																								
学校給食訪問	13回																																																								
全校集会講話	2回																																																								
会議 学校給食担当者会	6回																																																								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>98,235,581</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>64,797,691</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	98,235,581	一般財源	64,797,691																																													
財 源 内 訳 (円)																																																									
国庫支出金																																																									
県支出金																																																									
地方債																																																									
その他	98,235,581																																																								
一般財源	64,797,691																																																								

4 成果指標

第二次千曲市総合計画・前期基本計画「成果指標」（教育関係抜粋）

第1章 千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち

※塗りつぶしは、達成度100%以上

節	達成方針	戦略	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R3実績値		目標値 令和3年度	H29達成率	H30達成率	R1達成率	R2達成率	R3達成率	担当課	指標選定の考え方
2	【産業連携】 連携による千曲市産業の基盤をつくる	★ 2-4	研究支援件数	棚田や温泉など千曲市を研究地域とする大学の研究活動への支援数	上昇 ↗	2件	H26	6 件	R3	6 件 (H31)	50.0%	33.3%	83.3%	100.0%	100.0%	歴史文化財センター	大学研究機関との連携による、新産業や新商品の創出に向けた取り組みの状況を表す
6	【移住・定住】 住んでみたい、住み続けたいまちをつくる	★ 2-3	奨学金償還優遇制度利用者数	U・J・Iターン者向け奨学金償還優遇制度利用者数	上昇 ↗	0人	H28	5 人	R3	50 人 (H31)	0.0%	0.0%	4.0%	6.0%	10.0%	観光交流課 教育総務課	奨学金利用により移住・定住に繋がる効果を表す

第2章 安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち

節	達成方針	戦略	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R3実績値		目標値 令和3年度	H29達成率	H30達成率	R1達成率	R2達成率	R2達成率	担当課	指標選定の考え方
2	【教育】 子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる		不登校児童の割合	小学校における不登校児童の在籍比率	改善 ↘	0.32%	H27	1.52 %	R3	0.3 %	60.0%	44.1%	39.5%	23.4%	19.7%	教育総務課	小学校における児童の不登校状況を表す
			不登校生徒の割合	中学校における不登校生徒の在籍比率	改善 ↘	2.92%	H27	6.09 %	R3	2.1 %	57.9%	59.2%	53.0%	51.0%	34.5%	教育総務課	中学校における生徒の不登校状況を表す
			特別支援教育支援員等配置人数	障がいのある児童生徒の介助や学習支援をするために小中学校に配置する人員数	上昇 ↗	39人	H28	43 人	R3	46 人	89.1%	89.1%	91.3%	95.7%	93.5%	教育総務課	きめ細やかな支援の取り組みを表す
		★ 2-5	千曲市型コミュニティスクールの実施割合	各小中学校にコミュニティスクール運営委員会が設置されている割合	上昇 ↗	0%	H27	100 %	R3	100 % (H31)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	教育総務課	学校支援ボランティアの活動のもとに保護者・地域・学校が協働して開かれた学校づくりを目指す状況を表す
		★ 2-5	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	地域の行事に参加している児童生徒の割合	上昇 ↗	84.4%	H27	73.85 %	R3	85 % (H31)	97.3%	95.2%	100.5%	100.5%	86.9%	教育総務課	地域における児童生徒のかかわり状況を表す
			食材の地場産物使用度	地場産物の範囲を県内産とした食材数ベース	上昇 ↗	49.8%	H27	50.29 %	R3	55 %	100.7%	89.0%	105.5%	99.8%	91.4%	給食センター	地元農産物の利用促進の取り組み状況を表す
			事故件数	給食を起因とする食中毒事故や給食センター職員の労災事故の件数	改善 ↘	4件	H27	0 件	R3	0 件	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	給食センター	食中毒や労災事故が起きない取り組みを表す
			一日当たりの残菜量	学校給食における一日当たりの残菜量	改善 ↘	36kg	H27	36.33 kg	R3	35 kg	145.8%	139.5%	134.6%	115.7%	96.3%	給食センター	残菜量を減らす取り組みを表す
3	【生涯学習スポーツ文化芸術】 学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める		生涯学習の講座数と参加者数	生涯学習係、6公民館、2図書館で実施した延講座数と参加者数	上昇 ↗	1,423講座 22,665人	H27	621 講座	R3	1,500 講座	79.7%	69.0%	67.7%	53.1%	41.4%	生涯学習課	生涯学習活動への市民参加を表す
			市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	市民1人当たりが1年間にスポーツ施設を利用する回数	上昇 ↗	6.7回	H27	4.2 回	R3	6.8 回	97.1%	101.5%	104.4%	47.1%	61.8%	スポーツ振興課	気軽に利用できるスポーツ施設の環境整備の取り組みを表す
		★ 5-1	成人の運動実施率	スポーツ活動を週に1回以上行っている成人の割合	上昇 ↗	50.4%	H25	52.3 %	R3	65 %	77.5%	67.4%	67.4%	67.4%	80.5%	スポーツ振興課	健康運動の普及と推進の取り組み状況を表す
			文化施設の利用者数	文化会館(更埴・上山田)、戸倉創造館、ふる里漫画館、アートまちかど、稲荷山宿・蔵し館の年間利用者数	上昇 ↗	193,048人	H27	60,023 人	R3	200,000 人	90.2%	95.9%	73.3%	23.0%	30.0%	文化課	文化施設の活用状況を表す
5	【多文化共生】 国際性の豊かな人とまちをつくる		多文化共生フェスティバル千曲万博の参加者数	多文化共生フェスティバル千曲万博の参加者数	上昇 ↗	650人	H27	中止	R3	750 人	60.0%	53.3%	57.3%	—	—	生涯学習課	多文化共生・国際化推進の取り組み状況を表す

第5章 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち

節	達成方針	戦略	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R3実績値		目標値 令和3年度	H29達成率	H30達成率	R1達成率	R2達成率	R2達成率	担当課	指標選定の考え方
1	【歴史・文化財】 輝かしい歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ		国・県・市指定文化財数	国・県・市指定文化財数	上昇 ↗	146件	H27	149 件	R3	166 件	89.2%	89.8%	89.8%	89.8%	89.8%	歴史文化財センター	文化財保護の取り組みの状況を表わす
		(★) 4-3	博物館・史跡公園の入館(場)者数	森将軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館・城山史跡公園の年間入館(場)者数	上昇 ↗	46,071人	H27	27,351 人	R3	48,800 人	80.1%	88.4%	78.1%	51.9%	56.0%	歴史文化財センター	文化財施設の活用状況を表わす
3	【景観形成】 景観の美しいまちをつくる	(★) 4-3	建造物修理・修景事業	稲荷山伝建地区の建物修理・修景件数	上昇 ↗	修理 1件 修景 0件	H27	15 件 3 件	R3	13 件 7 件	46.2% 0.0%	46.2% 14.3%	53.8% 28.6%	84.6% 42.9%	115.4% 42.9%	歴史文化財センター	景観形成への市民の取り組み状況を表す
5	【伝統文化】 伝統行事や民話などを楽しみ、次代に伝承する		神楽保存会(継承)数	市内の神楽保存会(継承)数	維持 →	30団体	H27	30 団体	R3	30 団体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	歴史文化財センター	地域の伝統芸能である神楽の保存・伝承の取り組みの状況を表す

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」（教育関係抜粋） ※塗りつぶしは、進捗率100%以上

具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)		目標値 (B)		R3進捗率 (A/B)	担当課
基本目標 2 新しい人の流れをつくる										
2-3	1-6	UIJターン者向け奨学金優遇制度利用者数	0 人	H27	5 人	R3	50 人	R3	10.0%	教育総務課
2-4	1-2	研究支援件数	2 件	H26	6 件	R3	8 件	R3	75.0%	歴史文化財センター
2-5		基礎学力の定着度	小学生：各教科、全国をやや上回る又は同程度	H30	小学生：全国・長野県と同程度	R3	小学生：全国・長野県よりやや上回る	R3	50.0%	教育総務課
			中学生：各教科、全国と同程度又はやや下回る		中学生：全国・長野県と同程度		中学生：全国・長野県と同程度			
2-5	2-2	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生 86.2 %	H30	小学生 75.3 %	R3	小学生 90.0 %	R3	83.7%	教育総務課
			中学生 75.5 %		中学生 72.4 %		中学生 80.0 %		90.5%	
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める										
4-3	5-3	建造物修理・修景事業	修理 1 件	H27	修理 15 件	R3	修理 15 件	R3	100.0%	歴史文化財センター
			修景 0 件		修景 3 件		修景 7 件		42.9%	
4-3	(5-1)	「蔵し館」の入場者数	1,749 人	H26	1,074 人	R3	3,000 人	R3	35.8%	文化課
4-3	(5-1)	「ふる里漫画館」の入場者数	1,552 人	H26	1,010 人	R3	2,000 人	R3	50.5%	文化課
基本目標 5 健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める										
5-1	2-3	成人の運動実施率	50.4 %	H25	52.3 %	R3	65.0 %	R3	80.5%	スポーツ振興課
5-2		市政の「生涯学習・スポーツ・文化芸術」に対する満足度	39.4 %	H27	42.2 %	R3	50.0 %	R3	84.4%	生涯学習課

5 外部評価での意見・提言とそれに対する考え

(1) 情報教育センター事業（GIGA スクール構想）

■意見・提言

- ①パソコン中心の授業に、全ての子ども達が対応できなければならないということと、子ども達の健康の面からもあまり電子化に偏った教育が進んでいくことを心配しています。
- ②この事業は、計画では基本目標Ⅰ施策1-1となっているが、逆に計画を見てみると、情報教育センター事業という言葉はどこにも出てこない。施策1-1に計画を作る段階で、この事業は想定できていなかったから、事業面として計画に書き込むことができなかったのか。あるいはわかっていたが、計画には入れなかったのか。その辺の関連性を、もう少し説明しておいた方がよろしいのではないか。
- ③2024年から、小学校5年から中学3年まで英語がデジタル教科書を採用することになっており、その後も算数・数学は、デジタル教科書を使うという方向になっていますが、いろいろな弊害も指摘されるようになってきていますので、一度専門家に視察していただいてはどうか。

●教育委員会の考え

- ①1人1台端末を全ての授業で始めから終わりまでずっと使い続けるということはありません。この授業では使用した方が、効果があるという学習を教職員が考えながら使用しています。教職員も子どもの視力低下を非常にあの気にしていますので、十分気をつけて使用しているのではないかと認識しています。（教育総務課）
- ②元々、情報教育センター事業という今回の1人1台端末整備以前に、各教室に大型テレビなどの機器を整備する教育環境の整備事業項目が10年程前からありました。ここに来て、国が計画したGIGAスクール構想で、新たに情報機器の整備が設けられてきましたので、この情報教育センター事業の大枠の中に、GIGAスクール構想を含めました。1人1台端末も「子ども達みんなが楽しく学べる学校環境の整備」という項目の中に入れさせていただいた。（教育総務課）
- ③今後、状況に応じて専門家の視察を検討してまいりたい。（教育総務課）

(2) 高校再編

■意見・提言

- ①発展させる会とともに、屋代南高校が存続してほしいと思っていますが、遅いという気がします。もう少しスピード感があってもよかったのではないかと。また、人口規模からすると、屋代南高校が無くなって1校だけになると、1校当たりの人口比で、長野市、上田市、須坂市、坂城町と比較すると4倍ぐらいになってしまい、公平公正という点から見ても、極めていびつな形になると言わざるを得ない。

●教育委員会の考え

- ①スピード感を持ってとのことですが、長野県教育委員会の高校再編整備計画のスケジュールの中で、住民説明会が7月31日頃から始まりましたが、千曲市教育委員会事務局として、市民に早く知らせなければいけないということで、県教委に、

千曲市会場の住民説明会を前半に行ってほしいといったお願いをし、お盆前に終わることができました。また、人口規模につきましては、1校なってしまうと、委員ご指摘のとおりでして、教育機会の均等といったことを強くこれから、県教委や県議会にも、市として何ができるのかということで、現在、市長部局と検討しているところです。(教育総務課)

(3) 生涯学習推進事業

■意見・提言

①新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年、突然講座の中止ということがありました。講師に支払う公民館の謝金はすごく少なく、最高のものを市民の皆様に教えられるように準備をしていきますが、中止になったときの補償は全くない。何らかの補償があると良いと思うがいかがか。

●教育委員会の考え

①補償につきましては、検討させていただきたい。

コロナに関しては、国の方針や県の方針等で、ウィズコロナが一層強まると考えていますので、成人期座につきましては、昨年度に比べ、今年度の方が開催の方向性を強めていると考えています。(生涯学習課)

(4) 名勝姨捨整備事業

■意見・提言

①姨捨に下から通じる道路が狭く、大型バスは一方通行にした実績もあり、道路全体が広がらないようであれば、2ヶ所ぐらいすれ違う場所を確保して安全な運行ができるようにしていただきたい。また、姨捨駅の駐車場が少なく大型バスが来たときは非常に困っている。もう一点、「月の都ちくま」が認定されたが、「月の都ちくま」の中で一番は、「わがこころ慰めかねつさらしなや姨捨山にてる月をみて」という句がありますが、この句碑が姨捨にはない。他所から来たお客様が、何で姨捨が月かということが、句碑があればわかると思いますので、日本遺産センターに句碑をお願いしたい。

②千曲市にはすごく良い歌がたくさんあり、信州姨捨駅や上山田でしたら温泉音頭、千曲夜曲、千曲小歌などがありますが、市でバックアップして、どこかで流したり、CDを発売したりするなど、観光客の人が耳にしたりするところとか、何かできないのかと思っています。また、万葉公園には千曲川の歌碑がありますが、あまり活用されていない。ダイジェスト版みたいなCDを市でバックアップして、文化課と協力してできないものかと思っています。

●教育委員会の考え

①姨捨整備事業に係る駐車場並びに道路改良につきましては、担当課にお繋ぎします。県道姨捨停車場線の道路改良で、現在、蛇行している道路線形をまっすぐにすることによって生まれた残地の部分をビュースポットと駐車場として整備する計画で、主に棚田側に普通車用の駐車場、山側を削った部分の残地にバスの駐車場を整備する計画であったと思いますので、ご理解いただきたい。

次に、「わがこころ慰めかねつさらしなや姨捨山にてる月をみて」の歌碑ですが、現在、日本遺産推進室で検討しておりますので推移を見守っていただければと思います。(歴史文化財センター)

②ご意見として検討したいと思いますが、おそらく検討する部署としては、総合政策課になるかと思います。(歴史文化財センター)

(5) 松田家資料整備事業

■意見・提言

①非常に資料が乏しいので、武水別神社の神宮寺の資料も、資料に加えていただきたい。

●教育委員会の考え

①資料が乏しいとのことですが、今回の活用計画に伴い、資料について一通り目録を作る中で、主に古文書を中心としたものが10万点を超えるところです。まだ、全てにおいて保存が行き届いているわけではありませんが、しっかりとやって行きたいと考えています。(歴史文化財センター)

(6) 重要伝統的建造物群保存推進事業

■意見・提言

①バスの駐車場が無く、今は、長野信用金庫の跡地などを借りることもありますが、駐車場の整備をお願いしたい。また、建物の修復で遅れているのは、鍵に手のクランクに曲がっている枡形のところの三、四軒。魅力ある観光地にするためには、枡形の部分の協力を得て復元することが必要ではないかと思うのでお願いしたい。

●教育委員会の考え

①文化庁の指導として伝建地区の指定地区内には、できるだけ大きな駐車場は設けないで欲しいといった方針がありますので、そことのバランスの取り方で調整が難しいところではありますが、地域への駐車場には気を遣っていきたいと考えています。また、魅力ある観光地にするということで、稲荷山地区は、江戸時代初期の町割りがそのまま残されていて、それを今も使っているという点が非常に重要な点ですので、現在、観光客が立ち寄る場所は、蔵し館と漫画館以外にはあまりありませんので、来られた方が気軽に立ち寄れる、そういう場所を整備していきたい。(歴史文化財センター)

(7) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

■意見・提言

①先日、大きな大会があり、ことぶきアリーナが非常に混雑していたが、指定管理者であるスポーツ協会には事前に連絡はなかった。大きな大会があるときには事前に、スポーツ協会に連絡をお願いしたい。また、その大会で、トレーニングする場所が無いので、市役所の前や、こもれびテラスに大勢の選手が溢れていた。そういったことを考えて、なぜ、戸倉体育館と分けなかったのか。今後もしろいろな大会があると思うが、いずれにしても市内には、戸倉体育館か、ことぶきアリー

ナしかないので、国民スポーツ大会をやるとしたらそういった部分も考えていただきたい。

●教育委員会の考え

①指定管理者であるスポーツ協会としっかりと連絡を取りながら大会に向けて準備を進めていきたいと考えています。また、トレーニングする場所が無く、選手が外に溢れていたということですが、今後は、使用される方にスポーツ振興課から施設利用のあり方を説明しながら、大会が無事に終るように進めていきたいと考えています。(スポーツ振興課)

(8) 給食センター管理運営事業

■意見・提言

①児童のセンター見学など、非常に貴重な体験ができることが中止となったことは残念だと思います。今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、あるいは終息した場合には再開の予定はありますか。

●教育委員会の考え

①今年度は募集を行っていますが、見学とセットの給食の試食が、現在、センターの内では難しいことから、断られるケースがあります。今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、この事業の参加も増えてくると思いますので、引き続き続けていきたいと考えています。(学校給食センター)

(9) その他

■意見・提言

- ①千曲市教育振興基本計画（千曲っ子教育ビジョン）について、第三次総合計画に基づく、この教育振興基本計画を新たに作る必要があるという認識なのか。または、第三次総合計画の中で教育に関する部分が、かなり詳細に亘って計画が作られているので、その総合計画の中の第2章を持って基本計画とするという認識なのか、伺いたい。
- ②各学校では、学校運営委員会で運営委員会の方針が新しく4月からスタートしていますが、学校運営委員会の方針は、第二次総合計画の表現を使っている学校が、非常に多い。具体的には、千曲市家庭教育支援条例の活用の仕方の表現と知・徳・体の調和のとれた子どもの育成の表現。この表現について第三次総合計画では、使っていない。この二点について第二次と第三次の総合計画は、コアな部分で違います。しかし、学校運営委員会は、第二次をベースにして今年度スタートしていますので、この二つの表現が現場では依然として使われている。ここをどのように調整していくかということを教育委員会として検討していただきたい。

●教育委員会の考え

①教育振興基本計画は、教育基本法では地方公共団体の努力義務となっていますので、県内各市におきましても、教育大綱のみを策定して、それを教育振興計画に置き換えている。または、総合計画を持って大綱としてしまう自治体もあります。教育振興基本計画を、今後、策定するのかわからないのかということですが、新たな教

育振興計画につきましては、策定していきたいと考えています。

千曲っ子教育ビジョンは、2019 年度にスタートしていますので、来年度で計画期間が終了しますので、2023 年度の見直しになります。

②学校現場との調整については、教育長を中心に教育委員会の中で、しっかりとやってまいりたいと考えています。（教育総務課）

6 点検及び評価を受けて

千曲市教育振興審議会から、教育委員会が行った主要施策について意見・提言をいただき、教育委員会としての考えを明確にしました。

教育委員会の所管は、学校教育、学校給食、生涯学習、国際交流、スポーツ、文化・芸術、歴史・文化財と多岐に及びます。今年度の「点検及び評価報告」を基に、P（計画）・D（実行）・C（評価）・A（改善）サイクルを確立し、事業の選択と集中を進めることにより、一層効率的な事務執行に努めてまいります。

また、「点検及び評価報告」の議会への報告及び市民への公表は、教育委員会事務の説明責任を求められたものであり、本制度により教育委員会の基本方針をより分かりやすく、丁寧に説明をしてまいりたいと考えています。

7 資 料

(1) 教育長・教育委員

役 職 名	氏 名	住 所
教 育 長	小 松 信 美	羽 尾
教育長職務代理者	坂 本 孝 夫	上山田温泉
委 員	中 村 洋 一	若 宮
委 員	宮 入 文 雄	雨 宮
委 員	松 田 祐 子	八 幡
委 員	新 海 敦 子	小 島

(令和4年3月31日現在)

(2) 令和3年度 教育委員会基本方針

平成 28 年度に策定された「第二次千曲市総合計画」では、将来都市像を「科野^{しなの}の国 さらしな はにしな 史都^{しと}がにぎわう 信州の交流拠点 千曲」とし、この将来都市像を具現化するため6つの基本目標があります。どの基本目標も教育と関連がありますが、

基本目標①「千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち」

基本目標②「安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち」

基本目標⑤「輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち」

が特に教育委員会にかかわりがあります。同年9月に宣言した「千曲市教育大綱」の趣旨を踏まえながらこれらを具体的に進めるため、教育委員会は第二次教育振興基本計画並びに各個別計画に沿って着実に施策を進めてまいります。

○子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる

子どもたち一人ひとりが将来において、その可能性を開花させ、自らの人生を幸福に過ごすことができるための基礎力を身につけさせることが教育の役割です。

そのためには、コロナ禍であっても、児童生徒等の教育を受ける権利を持続的に保障し、学校における感染リスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要があります。

現在、国が目指す Society5.0 の未来社会に向けて、今後は ICT の利活用が一層加速され、情報や ICT 機器を有効に、安全に活用する「情報活用能力」が求められています。Society 5.0 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術の活用は必須であり、それを踏まえ、国では令和 5 年度を目標に「GIGA スクール構想」を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり構想が前倒しとなり、市内小中学校

の児童生徒に 1 人 1 台端末を配置し、併せて各教室に端末を収納する充電保管庫を設置するとともに、校内ネットワーク環境の整備を行いました。今後は、引き続き教職員の研修を基盤として、令和 3 年度からは、児童生徒一人ひとりが端末を使った授業を段階的にスタートするとともに、子ども達の状況を把握しながら、きめ細かな指導に心がけてまいります。

また、これからの子どもたちが個性や能力を生かし、自立した人間として生きていくためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和がとれた「生きる力」を育成することが大切です。そのために、学校、家庭、地域との連携強化を進め、小中学校の現場における教育力の向上と千曲型コミュニティスクールなどによる学校支援体制の整備や子どもたちの社会的・職業的自立に向け、職場見学及び職場体験学習等を位置づけたキャリア教育の推進を図り、信頼される学校づくりに努めます。

なお、不登校や特別な支援を必要とする子ども達への対策として、総合教育センターを中心に関係機関との連携を図りながら、教育相談・教育支援体制の充実を図るとともに、教育相談室では、幼・保・小・中の連携のもと就学移行支援を充実させ、不登校予防や各発達段階における適切な指導・支援体制の整備を図ります。特別支援学校に在籍する児童生徒については、居住する地域の千曲市立学校に副学籍を置き、副学籍校の児童生徒と共に学び育つことができる体制づくりを進めます。

学校給食については、安全で安心な給食の提供と学校給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食習慣が身につくように努めます。

児童・生徒が、安心していきいきとした学習や生活ができるよう、引き続き安全で快適な教育施設の整備を進めるとともに、信頼される学校づくりのために、地域との連携を進めながら地域に開かれた学校づくりに努めます。

子どもたちの放課後の安全・安心な生活や活動の場を確保するために、子どもたちと地域の人たちが触れ合える機会を創出する「子どもの居場所づくり事業」などを一体的に進めます。

若い世代の「移住・定住促進策」及び「経済的支援策」として、UIJ ターン者向けの「奨学金償還優遇制度事業」助成金の交付を継続いたします。

これら「千曲市総合計画」の基本理念を具現化するために、「千曲市教育大綱」や教育を取り巻く情勢や変化する社会背景などを踏まえ、平成 31 年 3 月に策定した中長期的な計画である「第二次千曲市教育振興基本計画」（令和元年度(2019 年度)から 10 年）並びに個別計画である「千曲っ子教育ビジョン」（令和元年度(2019 年度)から 5 年）について、これまでの取り組みの成果や課題等を総括する中で、引き続き 3 つの基本施策である「楽しく学べる学校」「家庭・地域が一体となった学校」「地域で青少年をはぐくむ風土」を視点にすえ、具体的な施策に取り組んでまいります。

○学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める

市民一人ひとりが自己を高め、生きがいを創出し、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習は大きな役割を果たしています。

生涯学習は、学校教育のみならず、乳幼児から高齢者まで、その生涯にわたって自らの意

志により、いつでも、どこでも、だれでもが自由に行われる継続的な学習活動であり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができるよう、体制を整えていく必要があります。さらには、その学びの成果が、社会や地域に適切に生かされるよう環境の整備をしていくことも大切です。

そのため、「第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画」（令和元年度(2019 年度)から 10 年）に基づき、社会の変化に即した学習内容の提供など、計画に盛り込んだ施策を着実に推進してまいります。また、市民の学習ニーズに応えるため、公民館では事業の充実を図ります。図書館でも施設整備を行うとともに、市民の教養、生涯学習の拠点として自由で親しみのある図書館づくりに努め、利用者の要望、時代の変化に対応した図書館サービスの推進、資料の提供を行います。

また、家庭での教育は原点であり全ての教育の出発点であることから、「家庭教育支援条例」に基づき、家庭の教育力向上のため、学校、地域、事業者、行政等、その他市民皆で家庭教育を支えていくことを目指します。

多文化共生社会の実現に向けては、異文化理解の推進や外国籍市民への支援、国際感覚豊かな人材の育成等を進めます。

スポーツ振興事業は、「第二次千曲市スポーツ推進基本計画（令和元年度(2019 年度)から 10 年）」に掲げる「市民みなスポーツ」の実現に向け、「千曲市スポーツ推進委員」「NP0 法人千曲市スポーツ協会」「総合型地域スポーツクラブ」などのスポーツ関係団体、「信州ブレイブウォリアーズ」などの地域密着型プロスポーツチームと連携し、市民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができるよう、生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自立的にその適性及び健康状態に応じて行なえる環境整備を進めるとともにスポーツツーリズムを推進し、地域の特色を活かしたイベントの開催や施設整備を行います。

令和 10 年度に長野県を主会場として開催されることが内定している第 82 回国民スポーツ大会（国民体育大会より改称）及び第 27 回全国障害者スポーツ大会に向け、大会に対する市民の関心を高め、大会を盛り上げる機運を醸成するための啓発事業を実施します。

また、体育施設運営については、長期的な視野に立ち、施設のあり方を検討するとともに、現在管理運営する施設について、指定管理者制度や市民協働、受益者負担などの考え方を研究しながら、更に合理的で経済的な運営方法を検討してまいります。なお、安心して社会体育施設を利用していただくため、令和 3 年度より非構造部を含む施設の耐震化を順次進めます。

文化芸術は、ゆとりと潤いの実感できる心豊かな市民生活を実現していく上で、不可欠なものであり、社会的財産と言えます。そして、その振興が地域経済とも密接に連携し、活力と魅力あるまちづくりに繋がるものととらえています。

「千曲市文化会館運営委員会」などを活用し事業を考察、新たに作成する「千曲市文化芸術振興基本計画」の基本理念、基本目標に沿って計画に示された展開例を踏まえ、施策の具現化に努めて参ります。

また、台風第 19 号により被災した更埴文化会館及び更埴図書館の施設復旧工事、電気設備改修工事並びに老朽化した稲荷山宿・蔵し館の修繕工事に向けた実施設計を行います。

○輝かしい歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ

文化財は、まちの歴史や文化を正しく理解するためになくってはならないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。また、その価値が損なわれると回復ができない、貴重な国民共有の財産です。

千曲市の貴重な文化財を守り、また、今後活用を図っていくため、文化庁の補助を受け「千曲市文化財保存活用地域計画」の作成を行い、市内の文化財や歴史遺産の保存活用方針を定めてまいります。

令和2年度、千曲市が「月の都 千曲」のタイトルで日本遺産に認定されました。

日本遺産認定を機に、重要伝統的建造物群保存地区に選定された稲荷山の町並み整備をはじめ、重要文化的景観に選定された「姨捨の棚田」など日本遺産の核となる文化財を主に、指定文化財の保存・継承と歴史的建造物の保護を図るとともに、千曲市の歴史・文化的な魅力を幅広く情報発信します。

平成29年9月に焼損した松田館主屋等については、千曲市の貴重な文化財を継承していくためにも、再整備を進めておりますが、今年度中に整備を完了するよう努めてまいります。

また、文化財保護意識の啓発・育成を進めるため、博物館など文化財施設の充実並びに史跡公園等の適正管理に努めます。

○人を大切にし、差別のないまちをつくる

21世紀を「人権の世紀」として定着、発展させるため、憲法や教育基本法の方針にのっとり、学校教育・社会教育を通じて人権尊重の意識を高める教育の推進に努めます。

「千曲市差別撤廃人権擁護条例」（平成15年制定）と「人権とくらしに関する総合計画」（平成21年制定）に基づき、学校や公民館等の教育のあらゆる場で人権についての教育・啓発を進め、いじめや差別をなくして、すべての人の人権が守られるよう人権教育を推進します。

（3）令和3年度 教育委員会議及び議決案件一覧

①委員会の開催状況 定例会12回 臨時会1回

②委員会の議決事項

年月日	議案・報告・専決 番号	議 案 名
第1回定例会 (R3.4.28)	1	千曲市教育支援委員の委嘱について
	2	千曲市総合教育センター企画運営委員会委員の委嘱について
	3	千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
	4	千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について
	5	千曲市文化会館運営委員会委員の委嘱について
	6	千曲市無形民俗文化財伝承指導者の委嘱について
	7	令和3年度教育施設工事・修繕計画調書について

	報告	1 2 3 4 5 6 7	令和3年4月19日千曲市議会委員会報告について 令和3年度外国語指導助手の学校配置について 千曲市無形民俗文化財伝承指導者の退任について 職員の処分について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 5月の各課の行事予定について
第2回定例会 (R3.5.26)	議案	8 9 10	令和3年度千曲市一般会計（第2号補正）教育関係予算について 千曲市立図書館協議会委員の任命について 千曲市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	専決	1 2	職員の人事について 専決処分事項報告について（令和2年度千曲市一般会計（第11号補正）教育
	報告	8 9 10 11	令和2年度千曲市家庭教育支援条例に基づく支援施策の報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 6月の各課の行事予定について
第3回定例会 (R3.6.30)	議案	11 12 13	県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について 千曲市立図書館協議会委員の任命について 千曲市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	専決	3	令和3年度千曲市奨学生の決定について
	報告	12 13 14 15 16	令和2年度千曲市成人式の中止について 令和3年6月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 7月の各課の行事予定について
第4回定例会 (R3.7.28)	議案	14	職員の処分について
	専決	4	職員の人事について
	報告	18 19 20 21	千曲市少年育成センター少年補導委員の退任について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 8月の各課の行事予定について

第5回定例会 (R3. 8. 25)	議案	15	令和3年度千曲市一般会計（第4号補正）教育関係予算について
		16	千曲市教育委員会規則で定める様式における押印の廃止に関する規則の制定について
		17	千曲市教育委員会規程で定める様式における押印の廃止に関する規程の制定について
		18	千曲市教育委員会要綱で定める様式における押印の廃止に関する要綱の制定について
		19	千曲市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について
		20	千曲市教育振興審議会委員の委嘱について
		21	千曲市芸術振興計画策定委員会の委嘱について
		22	千曲市少年育成センター少年補導委員の委嘱について
	報告	22	令和3年8月3日千曲市議会委員会報告について
		23	教育長、部・課長報告について
		24	行事の共催・後援について
		25	9月の各課の行事予定について
第6回定例会 (R3. 9. 29)	議案	23	職員の人事について
	専決	5	職員の処分について
	報告	26	千曲市少年育成センター少年補導委員の退任について
		27	令和3年9月千曲市議会定例会報告について
		28	教育長、部・課長報告について
		29	行事の共催・後援について
		30	10月の各課の行事予定について
第7回定例会 (R3. 10. 27)	報告	29	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について
		30	令和3年10月18日千曲市議会委員会報告について
		31	教育長、部・課長報告について
		32	行事の共催・後援について
		33	11月の各課の行事予定について
第8回定例会 (R3. 11. 24)	議案	24	令和3年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和2年度実績）
		25	令和3年度千曲市一般会計（第7号補正）教育関係予算について
		26	千曲市教職員自家用車の公務使用取扱規程の一部を改正する訓令
		27	令和2年度千曲市更埴文化会館施設災害復旧機械設備工事変更請負契約の締結について
		28	令和2年度千曲市更埴文化会館施設災害復旧建築主体工事変更請負契約の締結について
	専決	6	第3期千曲市文化芸術振興基本計画の諮問について
	報告	36	教育長、部・課長報告について
		37	行事の共催・後援について
		38	12月の各課の行事予定について

第9回定例会 (R3.12.22)	報告	39 40 41 42	令和3年12月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 1月の各課の行事予定について
第10回定例会 (R4.1.27)	報告	43 44 45	教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 2月の各課の行事予定について
第11回定例会 (R4.2.24)	議案	29 30 31 32 33 34 35 36 37	令和4年度小・中学校学級編制届出書の提出について 千曲市立学校の学期について 令和3年度千曲市一般会計（第11号補正）教育関係予算について 令和4年度千曲市一般会計教育関係当初予算について 千曲市少年育成センター補導委員の委嘱について 千曲市体育施設条例施行規則及び千曲市科野の里ゲートボール場条例施行規則の一部を改正する規則について 千曲市上山田農業者トレーニングセンター条例施行規則の一部を改正する規則について 千曲市学校給食費徴収に関する規則の一部を改正する規則について 第3期千曲市文化芸術振興基本計画について
	報告	46 47 48 49 50 51 52	「いじめ防止等のための基本的な方針」の全部改定について 千曲市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する告示について 千曲市特別支援教育就学奨励費要綱の一部を改正する告示について 令和4年2月8日千曲市議会委員会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 3月の各課の行事予定について
第12回臨時会 (R4.3.4)	議案	38	令和4年度教職員人事の内申について
第13回定例会 (R4.3.30)	議案	39 40 41 42 43 44	令和4年度教育行政の基本方針について 職員の人事について 千曲市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について 千曲市公民館正副館長の任命について 千曲市社会教育委員の委嘱について 千曲市文化財保存活用地域計画（案）の作成について
	報告	53 54 55 56 57 58	令和4年度千曲市教育委員会施設長について 千曲市成人式典の対象年齢及び開催時期に関する基本方針（案）について 令和4年3月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 4月の各課の行事予定について

(4) 教育委員会事務分掌 (「令和3年度教育要覧」から)

事 務 局		(R3.4.1 現在)	
教育総務課	総 務 係	教育行政に係る企画及び連絡調整 教育財産管理 奨学金の貸与 学校医の委嘱 寄附採納 表彰及び褒賞 物品及び公印の取扱い・文書の収受 教育委員会の庶務関係 姉妹都市児童交流事業 U I J ターン者向け「奨学金償還優遇制度事業」助成金交付事業部・課の庶務関係	教職員の任免、内申その他人事 教育振興基本計画の進行管理 教育行政相談 教育委員会の組織及び会議 教育委員会の広報公聴 職員の人事と給与 教育予算の調整と経理 規則の制定改廃
	学校教育係	教科用図書の採択関係 学校の設置及び廃止、財産の管理 学校の組織編成及び学校運営 教育課程関係 学齢簿の整理 児童生徒の就学 学校職員の研修 生徒指導関係 情報教育、国際理解教育、小学校外国語活動 不登校対策、その他教育相談、就学相談等（教育相談室） 学校職員及び児童生徒の福利、保健安全厚生	就学援助 教職員住宅管理 学校予算及び財務会計 学習指導、教育活動 特別支援教育 義務教育関係補助金 教科書給与事務 外国語指導助手の任用
	教育施設係	学校施設及び学校財産の維持管理 学校施設及び設備の整備、修繕 学校環境衛生	学校改築、大規模改造工事 教職員住宅解体、撤去

生涯学習課	生涯学習係	生涯学習基本構想・基本計画の推進 生涯学習の専門的事項等の調査研究等 生涯学習出前講座事業 水辺の楽校の運営 社会教育委員及び同会議 社会教育施設の設置、整備、管理、廃止、財産の管理 学校教育と社会教育の連携 公民館、図書館との連絡調整 生涯学習人材バンクの整備 青少年事業の推進 青少年対策に係る施策の企画及び連絡調整 子どもの居場所づくり事業 地域未来塾事業 国際理解・国際交流に係る事業の推進 多文化共生に係る事業 東京オリンピックホストタウン事業の推進 原体験の森宿泊研修施設の管理運営 坊城平いこいの森施設の管理運営	生涯学習推進本部の庶務 生活運動の推進 社会教育団体の育成 家庭教育支援事業の推進 公民館分館建設事業補助金 少年育成センター事業の推進 青少年教育団体との連絡調整 放課後こども教室事業の推進
スポーツ振興課	スポーツ振興係	社会体育及びスポーツ振興 体育大会、スポーツ教室等の開催と奨励	スポーツ団体等の育成指導 レクリエーション等の企画立案指導
	施設整備係	社会体育施設の維持管理運営 緑地公園内体育施設等の維持管理運営 社会体育施設・緑地公園内体育施設・学校体育施設予約システム管理運用 災害復旧事業	
学校給食センター	管 理 係	資の調達及び経理 施設整備及び労務管理並びに衛生管理 所要栄養量、食品構成表及び献立作成並びに各種報告 学校給食の向上に必要な調査及び指導、研修 調理、衛生管理及び検食の指導	学校給食費徴収事務
	調 理 係	調理指導及び衛生指導 配送計画及び指示 調理用機械設備、器具類の維持管理	調理班の指導監督及び給食調理 物資の検収、管理及び保管
文 化 課	文化振興係	文化芸術振興事業計画及び実施 文化芸術団体及び関係機関等の連絡調整 その他文化芸術の振興	文化施設等の管理運営
歴史文化財センター	文化財係	文化財の調査、保護、活用 文化財保護審議会、文化財調査員等 埋蔵文化財の調査、保存、活用 城山史跡公園、智識の杜公園等、文化財施設管理運営 他文化財収蔵施設の維持管理	所蔵資料の整理、活用

教育機関・施設		
総合教育センター		児童生徒の教育にかかわる相談 教育相談に関する各機関との連絡 教育ICT活用の推進 教職員研修事業の実施 キャリア教育の推進及び支援 千曲型コミュニティスクールの推進及び支援 就学相談・就学判断 学力向上等教育課題の調査研究 教育課程の改善研究 施設の維持管理運営
公民館	業務係	社会教育事業の計画実施 生涯学習の推進 人権教育の推進 家庭教育支援事業の計画実施 社会教育関係団体との連絡 その他公民館活動の普及浸透 青少年健全育成事業
原体験の森宿泊研修施設		施設の管理運営
坊城平いこいの森		施設の維持管理
図書館	業務係	施設の維持管理 図書館協議会 図書資料の購入・利用事務 読書活動推進事業の企画運営 子ども読書活動推進事業の実施 読書相談、指導
戸倉創造館	業務係	施設の管理運営、文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務
更埴文化会館	庶務係	更埴、上山田文化会館の庶務
	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務 屋代駅市民ギャラリーの展示運営
上山田文化会館	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務
森將軍塚古墳館	学芸係	森將軍塚古墳館、科野の里歴史公園の管理運営
さらしなの里歴史資料館	学芸係	さらしなの里歴史資料館、古代体験パークの管理運営